



青梅市市制施行七十周年記念 新春展示

『市民所蔵の吉川英治作品展』



公益財団法人 吉川英治国民文化振興会提供



掛軸・川合玉堂絵・吉川英治讀【個人所蔵】



1951年青梅駅前にて市制施行を祝う人々

2022年1月4日(火)~3月27日(日)

開館時間 10:00~17:00(最終入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合翌平日)

ただし、1/10(祝)・3/21(祝)は開館し、1/11(火)・3/22(火)を休館とします。

観覧料 大人500円(400円) 小・中学生200円(150円)

年間パスポート 大人1,400円 小・中学生500円

市立美術館共通観覧券 大人600円 小・中学生200円

※()内は20名以上の団体割引料金

※障がい者手帳をお持ちの方とその付き添いの方1名は手帳の提示で無料

※青梅市内の小・中学生は土・日・祝日無料

※青梅市立美術館との共通観覧券で、美術館の共催展・館蔵企画展をご覧ください

青梅市

吉川英治記念館

Yoshikawa Eiji Memorial Museum



〒198-0064 東京都青梅市柚木町1丁目101番地1号

TEL: 0428-74-9477 FAX: 0428-74-9478

指定管理者 株式会社フクシ・エンタープライズ

主催・会場 青梅市・青梅市吉川英治記念館

青梅市市制施行70周年記念 新春展示
『市民所蔵の吉川英治作品展』



吉川英治は、青梅市（旧吉野村）に約9年間暮らし、執筆活動に勤しむとともに、地元住民との交流を深めながら、書画など数々の作品を残しました。

本展示では、市制施行70周年を記念し、青梅市広報などで募集した、市民が所蔵する吉川英治作品などを展示するとともに、英治とのかかわりに関するエピソードなどを紹介いたします。

市民のみなさまが大切に保管されてきた貴重な品の数々から、吉川英治の新たな魅力を探ります。



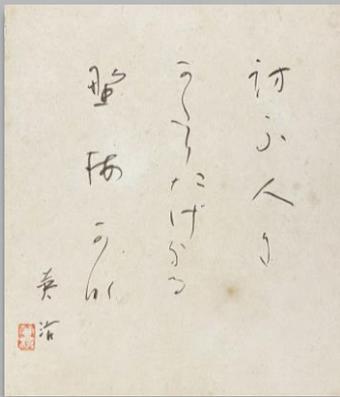
1953年8月吉野村お別れパーティー



1940年代吉野村の自宅書齋にて



掛軸・杉本健吉絵・吉川英治讀
【個人所蔵】



色紙・吉川英治【個人所蔵】



原稿・吉川英治【個人所蔵】

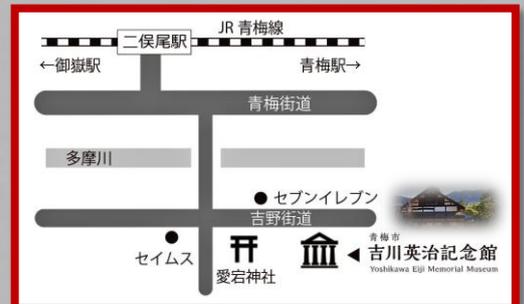
【期間中のイベント予定】

イベント名・日程	内容
2022年成人の日お祝い企画 2022年1/8(土)~1/10(月祝)	2022年度に新成人となる方と2021年度に新成人になった方を対象に、期間中無料入館といたします。※ご本人と付き添い1名様まで
地域連携事業『ひな人形展』 2022年2/19(土)~3/21(月祝)	記念館内の母屋にてひな人形を展示します。
ビブリオバトル&トークライブ 2022年2/20(日)13:30~	記念館スタッフによる吉川英治の作品紹介と、元出版社の編集者を招いた「小説ができるまで」の講演を行います。
春のスタンプラリー 2022年2/20(日)~3/21(月祝)	梅まつりに合わせて、近隣施設をめぐるスタンプラリーを実施します。
記念館で落語会【事前申込制】 2022年2/26(土)14:00~	記念館とゆかりのある落語家の柳家禽太夫師匠をお迎えして独演会をおこないます。
春の美術館めぐり 2022年3/10(木)~3/11(金)	吉野街道沿いにある玉堂美術館・櫛かんざし美術館・本館・青梅きもの博物館間をマイクロバスで無料循環します。

青梅市

吉川英治記念館

Yoshikawa Eiji Memorial Museum



- JR青梅線「二俣尾駅」下車徒歩約15分
- JR青梅線「青梅駅」下車⇒都営バス梅76系統「吉野行」乗車⇒「柚木」停留所下車徒歩約1分

【感染予防対策】

- ・館内においては会話はなるべくお控えください。
- ・観覧の際には、ソーシャルディスタンスを保ってください。
- ・館内の過密を防ぐため、入館制限を実施する場合があります。

【ご来館について】

- ・新型コロナウイルス感染拡大状況により、会期・開館時間などに変更が生じる場合があります。ご来館に当たっては事前にお電話や当館ホームページなどで開館状況をご確認ください。
- ・記念館では入館前の検温、手指消毒、敷地内でのマスク着用をお願いしています。